

新潟中央短期大学

平成18年度第三者評価
機関別評価結果

平成19年3月22日

財団法人 短期大学基準協会

新潟中央短期大学の概要

設置者	学校法人 加茂暁星学園
理事長	登坂 健児
学 長	寺川 悦男
A L O	寺川 悦男
開設年月日	昭和43年4月1日
所在地	新潟県加茂市学校町16-18

設置学科および入学定員(募集停止を除く)

学科	専攻	入学定員
幼児教育科		50
	合計	50

専攻科および入学定員(募集停止を除く)

なし

通信教育および入学定員(募集停止を除く)

なし

機関別評価結果

新潟中央短期大学は、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていることから、平成19年3月22日付で適格と認める。

機関別評価結果の事由

1. 総評

平成17年7月29日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現および教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次の通りである。

教育課程はおおむね体系的に編成されている。設置学科の性格上、多くの制約があるなかで短期大学としての工夫がみられる。

学生による授業評価、教員間で授業評価を行うなどファカルティ・ディベロップメント（FD）活動に着手しており、授業内容、教育方法の改善に向けて努力する教員の姿勢がみられる。

教員組織はおおむね整備されており、教育・研究業績を蓄積し、教育、研究、学生指導などに意欲的に取り組んでいる。校地・校舎面積は、短期大学設置基準を大幅に上回るペースが確保され、良好な学習環境にある。図書館については、短期大学設置基準を充足し、計画的に図書購入を行い、整備しており、司書の配置も計画している。

学生厚生委員会が組織され、学生生活全般に対して、支援体制が取られている。退学・休学・留年などの学生が少なく、少人数教育という特徴をいかした学生へのきめ細かい対応がなされている。また、就職指導室および学年担任を中心とした進路支援体制が確立され、情報提供・斡旋が行われており、免許・資格取得率や専門分野への就職率が高い。

入学に関する支援では、全学生に目を行き届かせ、きめ細やかな、手厚い学生支援が全学的な体制で行われている。

学生の社会的活動を設置学科の特徴や教育理念から価値あるものにとらえ、積極的に支援しており、年間を通してよく行われている。

研究に要する研究室、機器・備品などは整えられている。

学校法人の管理運営体制、短期大学の運営体制、事務組織ならびに人事管理は適切に運営されている。また、学外理事を受け入れ地域に根付く学園として認められている。

当該短期大学の状況を踏まえた改革に努めており、現状の定員50名から平成19年度

80名定員とする認可を受けるなど、改革の成果がみられる。

2. 優れていると判断される事項など

(1) 優れていると判断される事項

評価領域 教育目標の達成度と教育の効果

免許・資格の取得率が高く、それをいかした就職率が高い。また、退学・休学・留年の学生が少ない。

評価領域 学生支援

特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)の採択など、当該短期大学の特徴をいかした細やかな学生指導が行われている。

(2) 向上・充実のための課題

評価領域 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

いくつかの表現の建学の精神がみられるので、現状に合わせて一つにまとめることを検討されたい。

評価領域 教育目標の達成度と教育の効果

学生の成績評価基準の見直しが望まれる。

評価領域 研究

教員の研究論文発表についてのさらなる活性化が望まれる。

(3) 早急に改善を要すると判断される事項

なし

領域別評価結果

評価領域		評価結果
評価領域	建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標	合
評価領域	教育の内容	合
評価領域	教育の実施体制	合
評価領域	教育目標の達成度と教育の効果	合
評価領域	学生支援	合
評価領域	研究	合
評価領域	社会的活動	合
評価領域	管理運営	合
評価領域	財務	合
評価領域	改革・改善	合

評価領域 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

教育目標は入学式、卒業式の折に学長より述べられている。

知識、技能、感性にわけて教育目標を定めている。

教育目標を現代的に解釈した方がよいと考えられる。

評価領域 教育の内容

複数の免許、資格の取得が可能であり必須科目が多い中で、短期大学の独自性を出そうとする工夫がみられる。

学生便覧にシラバスが組込まれ、授業内容、教育方法および評価方法は明示されている。また学生便覧は事前に学生に配布されている。

学生による授業評価、教員間で授業評価を行うなどFD活動に着手しており、授業内容、教育方法の改善に向けて努力する教員の姿勢がみられる。

評価領域 教育の実施体制

きめ細かい少人数教育を行い、併せて特色GPに採択されるなど、優れた教育を行っている。

教員は教育・研究業績を蓄積し、教育・研究・学生指導などに意欲的に取り組み、年齢構成もバランスが取れている。

校地・校舎面積は、短期大学設置基準を大幅に上回るスペースが確保され、良好な学習

環境にあるが、校舎の経年化といった課題を抱える。

図書館は計画的に蔵書を整備中で、司書配置も近い状況である。

評価領域 教育目標の達成度と教育の効果

設置学科と関連した分野への就職率が高い。また、卒業生へのアンケートを試みており、前向きに取り組む姿勢がみられる。

免許・資格取得率や専門分野への就職率の高さや退学・休学・留年などが少ないことから、少人数教育という特徴をいかした学生へのきめ細かい対応がなされている。しかし、学習評価の判定基準の検討が望まれる。

評価領域 学生支援

大学案内、募集要項などにより適切な情報提供がなされ支援が行われている。

学習支援としては、詳細な内容のガイダンス実施から始まり、個別の指導助言、進度に応じた指導が行われている。

学生厚生委員会が組織され、学生生活全般に対して、支援体制が取られている。

就職指導室および学年担任を中心とした進路支援体制が確立され、情報提供・斡旋が行われている。

入学に関する支援では、全学生に目を行き届かせ、きめ細やかな、手厚い学生支援が全学的な体制で行われている。

評価領域 研究

研究に要する研究室、機器・備品などは整えられている。

学外的な研究活動はわずかであり、学内紀要のみの研究成果を見るのみであり、充分であるといえない。一方では研究時間、研究費など制約下にあるが、優れた教育は優れた研究に裏打ちされているとの考えのもとに教員が研究しやすい環境要件などを整備されたい。

評価領域 社会的活動

学生の社会的活動については、地域のかかわりの中でよく取り組みがなされている。

学生の社会的活動を、設置学科の特徴や教育理念から価値あるものにとらえ、積極的に支援している。

評価領域 管理運営

学校法人の管理運営体制、短期大学の運営体制、事務組織ならびに人事管理は適切に運営されている。

評価領域 財務

定員は充足しており、平成19年度から30名の定員増も認可されており、中・長期計画では平成20年度から消費収支は均衡する予定である。また、必要な施設設備はおおむね整備されている。

評価領域 改革・改善

自己点検・評価報告書は平成15年度、平成17年度、平成18年度と報告されている。当該短期大学の状況を踏まえた改革に努めており、現状の定員50名から平成19年度80名定員とする認可を受けるなど、改革の成果がみられる。